**事　務　執　行　概　要**

**都市空間創造グループ**

１．連絡調整

室内業務を円滑に推進するため、部内各局室課及び室内各グループとの連絡調整を密にし、所管業務の適正な執行に努めた。

２．人事管理

服務規律の厳正を期し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、職場の

明朗化並びに事務処理効率の向上に努めた。

３．予算執行管理

予算の執行に当たっては、室内各グループと連絡調整のうえ、執行状況の把握及び適正な管理に努めた。

４．「グランドデザイン・大阪都市圏」の推進

府域全体の都市空間の創造に向けた方向性を示した「グランドデザイン・大阪都市圏」のもと、都市の活力の源である「人」の活動を中心に、都市間連携を強化し、行政区域にとらわれない「広域連携型都市構造」への転換を図るため、庁内関係部局で構成する「グランドデザイン・大阪都市圏連絡調整会議」を平成30年８月と平成31年１月に開催した。

（広域サイクルルートを活用したまちづくりの推進）

平成30年７月から平成31年３月にかけて、大阪府、奈良県、和歌山県等の関係自治体による広域サイクルルート形成に向けた広域連携会議を開催した。また、サイクリングマップを作成するとともに、平成30年９月から12月にかけて試走会やニーズ把握・課題抽出のためのアンケート調査といった社会実験を実施した。

（能勢街道沿道の様々な地域資源を活かしたまちづくりの推進）

猪名川上流の地域資源を活用するネットワーク会議（いいな里山ねっと）との連携のもと、能勢街道沿道にある歴史・文化資源をはじめとする優れた地域資源を活かし、民間事業者と協力して「能勢街道周遊ロゲイニング」を平成31年３月に実施した。

【関係団体：兵庫県、川西市、猪名川町、池田市、能勢町、豊能町、能勢電鉄、阪急電鉄、阪急バス】

（生駒山系の豊かなみどりを活かしたまちづくりの推進）

　　生駒山系北部の様々な施設を活用した、豊かな緑の体感や、イノベーション創出をめざした広域連携によるまちづくりを推進した。

　　生駒山系南部については、「生駒山系の歴史・文化を活かしたまちづくりに関する連携会議」（八尾市、柏原市、平群町、三郷町、奈良県、大阪府）の取組みとして、信貴山周辺を広域で周遊するウォーキングマップを作成しホームページで情報発信した。また、マップを活用し、民間事業者と協力して「信貴山サイクルロゲイニング」を平成30年12月に実施した。

【関係団体：奈良県及び4市町（八尾市、柏原市、平群町、三郷町）】

（竹内街道沿道の優れた歴史・文化的資産を活かしたまちづくりの推進）

竹内街道・長尾街道・二上山を周遊する地域主体の広域連携事業である「近つ飛鳥の里サイクルロゲイニング」の平成31年４月の実施に向け、民間事業者との調整、関係市町への協力要請・連携を図った。

【関係団体：奈良県、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、香芝市、葛城市】

**事業企画グループ**

○「グランドデザイン・大阪」の推進

当グループが所管する３つのエリア「新大阪・大阪エリア」、「夢洲・咲洲エリア」、「御堂筋・周辺エリア」の推進にかかる事業の企画、調整を行った。

１．新大阪・大阪エリア

うめきた２期のまちづくりについては、「うめきた２期区域まちづくりの方針」に掲げるまちづくりの目標「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」の実現に向け、大阪市やUR都市機構等と連携して基盤整備事業の推進を図るとともに、UR都市機構が平成29年度より募集をしていた開発事業者（２次募集）について、三菱地所（株）を代表者とするグループに決定した。また、大阪市や経済界等と連携して設立した「みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」に開発事業者も参画し、まちびらきに向けての先行的取組みを行った。

民間開発が本格化するまでの当面の間、区域内用地の暫定的な利活用を図るため、平成28年10月より暫定利用を開始し、平成30年度は12事業の暫定利用事業を実施した。

また、新大阪駅周辺地域については、内閣府より、新大阪駅周辺地域が「都市再生緊急整備地域の候補となる地域（候補地域）」として公表されたことを受け、大阪市と連携し、国、経済団体、民間事業者などからなる「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会」を設置し、都市再生緊急整備地域の指定に向け、リニア中央新幹線等の開業による波及効果を活かしたまちづくり方針の検討を進めた。

２．夢洲・咲洲エリア

平成29年8月に府市・経済界によりとりまとめた「夢洲まちづくり構想」をもとに、新たな国際観光拠点の形成に向け、関係者と意見交換を実施した。

また、コスモスクエア地区関係者で構成される協議会等において、地域防災体制の充実を図るとともに、にぎわい創出のイベントとして、府・市・地域企業等で構成する実行委員会において、平成30年11月に「咲洲こどもフェスタ」を実施した。

さらに、将来の大阪港ベイエリア全体のまちづくりを推進するため、ベイエリア周辺事業者が参画する「大阪港ベイエリアに関する意見交換会」を開催するなど、大阪市や関係部局と連携しながら、エリア全体の活性化に向けた取り組みを行った。

３．御堂筋・周辺エリア

大阪都心の顔としての魅力・集客力を活かし、御堂筋の歩行者空間化などの道路空間を利活用した賑わいづくりの実現に向け、大阪市や地元組織と協議、調整を行い、「世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ」をコンセプトとする「御堂筋将来ビジョン」が大阪市により策定された。

また、平成31年３月に設置した都市再生緊急整備協議会御堂筋周辺地域部会に参画し、都市再生安全確保計画を策定した。

○「グランドデザイン・大阪都市圏」の推進

　　当グループが所管する「淀川沿川の地域魅力を活かしたまちづくりの推進」にかかる事業の企画、調整を行った。

１．淀川沿川の地域魅力を活かしたまちづくりの推進

　　淀川沿いの民間のまちづくり団体等が自由に意見交換を行う「淀川沿川まちづくりプラットフォーム」を平成29年８月に発足し、平成30年３月にプラットフォームにおいて策定した関係者等の共通のビジョンとなる「淀川広域連携型まちづくり戦略」に基づき、サイクルルートなどを活用した取組みや、淀川ブランドの創造、情報発信を行った。

　　また、淀川の魅力ある景観を発掘するため「淀川の魅力ある景観発掘コンテスト」を実施するとともに、学識経験者や舟運事業者、行政関係者との意見交換を行う検討会（計４回）を開催し、平成31年３月に、淀川の魅力ある景観づくりの方針となる「淀川の魅力ある景観づくりに向けて」を策定した。

**事業推進グループ**

○「グランドデザイン・大阪」の推進

 　当グループが所管する３つのエリア「なんば・天王寺・あべのエリア」、「大阪城・周辺エリア」、「中之島・周辺エリア」について事業の企画、調整を行った。

１．なんば・天王寺・あべのエリア

「なんば駅前広場空間利用検討会」（有識者、地域団体、府、市、大阪商工会議所）において平成29年３月に策定した「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」に基づき、なんば駅前広場の整備及び利活用について協議・調整を行った。

２．大阪城・周辺エリア

平成28年７月に府市でとりまとめた「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」（素案）や、大阪市が行った地区内の市有地におけるマーケット・リサーチの結果も踏まえながら、府と市で大阪城東部地区のまちづくりの具体化に向けた検討を進めた。

府立成人病センター等の跡地活用については、「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針」を踏まえ、同跡地等の活用策を検討するため、民間事業者の参画意向、市場性の有無、事業アイデアを把握するマーケット・リサーチを、健康医療部とともに実施した。また、今後の土地利用、事業の進捗や地域課題等について、関係部局や地元住民等と協議・調整を行った。

３．中之島・周辺エリア

公民連携して、水緑、文化性豊かな中之島エリアの実現に取り組むため、地権者等で形成された中之島まちみらい協議会と意見交換を行うとともに、中之島のまちづくりにあわせた歩行者ネットワークや親水空間の整備に向けて、関係部局と協議を行った。

○「グランドデザイン・大阪都市圏」の推進

みどりを活かしたまちづくりを一層推進するため、平成30年３月に策定・公表した「グリーンデザイン推進戦略」の内容について、市町村まちづくり担当部局、民間企業等に普及・啓発を行うとともに、「戦略７密集市街地をみどりの力で甦らせる！」を実現するため、密集市街地における除却跡地を活用した「コミュニティ農園」の整備に向けて、関係課とともに、市や団体と協議・調整を行った。

また、圧倒的な魅力を備えた都市空間を実現するため、「グリーンデザイン推進戦略」に掲げる８つの戦略に沿って、「グリーンインフラを活かしたまちづくり事例集」を平成31年３月に取りまとめた。